

平成31年度 (2019年度) 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	15	学校名	茨城県立小瀬高等学校			課程	全日制		学校長名	常井 安文						
教頭名	深澤 美紀代		小沢 浩						事務(室)長名	栗林 長武						
教職員数	教諭	17	養護教諭	1	常勤講師	3	非常勤講師	9	実習教諭、実習講師、実習助手	1	事務職員	2	技術職員等	3	計	40
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計(クラス数)				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	普通科	13	18	34	26	18	18			65	62	127 (4)				
	科															

2 目指す学校像

- 小瀬型学力を学校教育全体を通して身に付けさせる。
- ・生きる力を育み，心身ともに健全で調和のとれた人間形成のできる学校
 - ・生徒一人一人が確かな学力を身に付け，希望の進路を実現できる学校
 - ・社会の一員としての自覚を促し，社会規範の涵養を図る学校
 - ・明峰中学校との連携を研究しつつ，地域に貢献できる人材を育成する学校

3 現状分析と課題 (数量的な分析を含む。)

項目	現状分析	課題
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・入学段階で基礎学力の定着に課題がある生徒が多い。 ・義務教育段階の基礎的な学習内容を確実に定着させるとともに学習意欲を高め，高等学校の授業に円滑に移行させる指導をする必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の向上 ・家庭学習の定着 ・魅力ある授業展開の工夫 ・個に応じた指導の工夫
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間を見通した計画を立て，進学，就職ともに3月末まできめ細かな指導を行った。就職内定率は15年連続100%を達成し，国公立大学に1名合格した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路意識の高揚 ・早期からの進路に対する準備 ・希望する進路の実現
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に落ち着いた生活ができおり，指導件数も少ない。通信機器の適切な使い方と交通事故防止に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な生活習慣の育成 ・交通ルール遵守意識の高揚
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒会が中心となって，各種行事の準備ができた。 ・昨年度は文化祭を成功させることができたが，本年度も生徒が主体的に活動する場を設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動及び学校行事への積極的参加を促進 ・生徒のリーダーシップの育成
中高一貫教育	<ul style="list-style-type: none"> ・スポット的授業，総合的な学習の時間での取組は中高の交流に大きく寄与した。昨年までの取組を維持・継続する。 ・生徒交流事業について，より一層積極的に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スポット的授業の充実・改善 ・中高6年間を見通した教育課程の在り方の研究 ・生徒交流事業の充実と地域貢献活動

4 中期的目標

<p>○シラバスに示した小瀬型学力の實現を目指す。(全教科で意識して指導する。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の定着と向上を多様な生徒の進路希望を100%実現させる。 ・進路指導を充実させ、正しい着こなしを生徒に定着させる。 ・あいさつと制服の正しい着用を指導し、主体的に生きる力を育成する。 ・生徒会各種委員会や部活動の自主的な運営を指導し、主体的に生きる力を育成する。 ・地域中学校の再編整備等に対応した新たな中高連携を模索し、推進する。 ・情報発信を積極的に行い、開かれた学校づくりと地域から信頼される学校づくりを推進する。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
基礎学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字、数学、英語の小テストや放課後学習を効果的に実施して学習意欲と基礎学力を向上させる。 ・生徒が各種技能審査等に挑戦し、合格できるように指導する。
希望進路の実現	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力を向上させる授業の進め方を研究する。 ・キャンパス見学、職場見学、インターンシップなどの体験的な学習を通して進路選択を円滑に進めさせる。 ・進路ジャーナルを発行し、効果的に情報を提供する。 ・生徒や保護者が進路について考え、情報収集が出来る体制づくりを行う。
規範意識の向上 あいさつの励行	<ul style="list-style-type: none"> ・交通事故防止に努める。 ・毎月服装指導を行う。頭髪を始め制服の正しい着こなしを生徒に定着させる。 ・登下校、授業開始と終了及び清掃時のあいさつの指導を徹底する。
生徒の主体的な活動の促進	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の活動がより主体的になるよう、事前指導を行う。 ・生徒会を主体とした球技大会、体育祭等を実施する。 ・新入生に入部を勧め、部活動をより活性化させる。
中高一貫教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・連携中学校及び近隣中学校、地域社会に積極的に情報を発信し、本校への信頼や関心を高める。 ・中高一貫教育推進委員会を効率よく機能させるようにする。 ・生徒交流事業の充実と、地域に貢献できる生徒を育成する。